

名古屋大学≪総合保健体育科学センター・講師または助教（文系）≫公募要領

1	募集件名	講師または助教の公募	
2	所属	総合保健体育科学センター 体育科学部	
3	募集内容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後）	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の「応募資格」にある募集研究分野の教育研究</li> <li>・全学教育科目「健康・スポーツ科学」の実習（いわゆる一般教養体育のスポーツ実技）の複数種目、および講義の担当（実習・講義いずれも英語での授業を担当できることが望ましい）</li> <li>・大学院の授業（講義、セミナー等）、および大学院生の指導（教育発達科学研究科、または医学系研究科の協力講座を担当）</li> <li>・名古屋大学および当センターの管理運営業務（運動施設の管理運営と教職員への運動指導、各種委員会活動など）</li> </ul>	
		（変更の範囲）	
		・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 講師または助教・1名	
		[着任時期] 2025年4月1日	
4	募集研究分野	大分類	ライフサイエンス
		小分類	スポーツ科学、健康科学
5	勤務形態	常勤（年俸制） 契約期間：期間の定めなし	
6	応募資格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士学位を有している方、または着任までに取得見込みの方</li> <li>・スポーツ科学、または健康科学分野のうち、社会学、心理学、情報学などの手法を用いて、社会実装・社会貢献につなげる応用的な研究を遂行できる方（これらの分野の業績があること）</li> <li>・全学教育（共通教育/教養教育）、および大学院における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもって取り組める方</li> <li>・業務遂行に支障のないレベルの日本語能力を有する方</li> </ul>	
7	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用条件は、東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによります。 <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</a></li> <li>・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程に基づく年俸制です。</li> </ul>	

		<p><a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勤務時間は、裁量労働制（専門業務型：一日は 7 時間 45 分のみなし勤務）に基づきます。一日の勤務時間は 8 時 30 分から 17 時 15 分までを基本とし、業務の遂行方法及び時間配分については、労働者の裁量に委ねられます。</li> <li>休暇は、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇を取得可能です。</li> <li>休日は、毎週土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）です。ただし、休日に行う授業、入試等で業務を命ずることがあります。</li> <li>雇用後の社会保障として、文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険が適用されます。</li> </ul>
8	応募期間	2024 年 5 月 10 日～2024 年 6 月 30 日
9	応募・選考 結果通知 連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <p>応募書類</p> <p>各種応募書類関係の保管場所：名古屋大学のファイルシステム NUSS  <a href="https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/HGKywCQzTFqkWSG">https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/HGKywCQzTFqkWSG</a></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>履歴書：上記 URL の「1_履歴書.xlsx」のファイルを用いて作成（記入例参照）</li> <li>研究業績リスト：上記 URL の「2_研究業績リスト.docx」のファイルを用いて作成</li> <li>研究教育取りまとめ一覧表：上記 1, 2 をまとめた一覧表を所定のエクセルファイル（上記 URL の「3_研究教育取りまとめ一覧表.xlsx」）を用いて作成</li> <li>主たる原著論文：3 編まで（申請者が筆頭著者のもの）</li> <li>研究内容と抱負：これまでの研究内容のまとめと、着任後の研究計画・抱負を、A4 用紙サイズ 2 枚以内に任意様式で作成</li> <li>教育歴と抱負：これまでの教育歴のまとめと、着任後の教育（全学教育と大学院教育）に関する抱負を、A4 用紙サイズ 2 枚以内に任意様式で作成</li> </ol> <p>5、6 については、応募資格に記載の研究内容や、当センターの設置目的（上記 URL の「名古屋大学総合保健体育科学センター規定.pdf」の第 1 条（目的）参照）に照らし合わせて記載することが望ましい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>参考者：応募者について参考となる意見を伺うことが可能な方 2 名以内の詳細（氏名、所属、連絡先、応募者との関係）を任意様式で作成</li> <li>類型該当性の自己申告書：下記の「その他」で説明されている「類型該当性の自己申告書」（上記 URL の「8_類型該当性の自己申告書.docx」の書類）を、2 ページ目のフローチャート（<input checked="" type="checkbox"/>を入れて）とともに作成</li> </ol> <p>送付手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「1. 履歴書」から「8. 類型該当性の自己申告書」までの書類（各ファイル名を「番号_項目」とする、例：「6_教育歴と抱負」）を、別々に PDF 化        なお、原著論文は一編ずつ PDF 化し、「4_原著論文 2」等、最後に番号を付加</li> <li>すべての PDF 化した書類を zip 形式で 1 つのファイルに圧縮・統合し、ファイル名を「〇〇△△_文系教員選考応募書類一式.zip」（〇〇△△は応募者の名前）とする</li> </ol>

		<p>3) zip ファイルにパスワードを付け、以下の名古屋大学のファイルシステム NUSS (アップロード専用、他の応募者から見えない仕様) に、応募期間内にアップロード</p> <p>期限：日本時間 6 月 30 日 (日) 24 時</p> <p>アップロード用 URL： <a href="https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/ia3Ypy6PzENSRDT">https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/ia3Ypy6PzENSRDT</a></p> <p>4) アップロードしたことと、zip のパスワードを電子メールにて下記宛に送付</p> <p>問合せ/連絡先：名古屋大学 総合保健体育科学センター 石田 浩司</p> <p>Email: <a href="mailto:ishida.koji.x2@f.mail.nagoya-u.ac.jp">ishida.koji.x2@f.mail.nagoya-u.ac.jp</a></p> <p>[選考内容 (選考方法、採否の決定) ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出された書類に基づき一次選考を行い、合格者に対し、二次選考として対面での面接を実施します。その際に模擬授業 (健康・スポーツ科学講義) を行っていただくことがあります。</li> <li>・海外等遠隔地にお住まい中など、特別な理由がある場合の面接は、オンラインで実施することもあります。</li> <li>・面接実施者には、電子メールで連絡をいたします (募集終了 1 か月以内)。</li> <li>・応募者への最終結果の連絡は、採用者決定後に電子メールで行います。</li> </ul>
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋大学は業績 (研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。) の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</li> <li>・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</li> <li>・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。</li> <li>・面接に要する交通費は自己負担となります。</li> <li>・講師または助教のどちらの職種での採用になるかは、履歴、研究歴、教育歴、業績等を総合的に判断します。</li> <li>・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法) に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。</li> <li>・採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</li> </ul>